

プラスワンチャレンジ解答と解説 5年 図形の合同

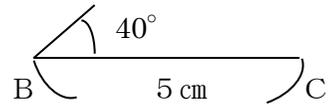
ある三角形をかきたいのですが、わかっていることが少なくてかけません。あと1つ次のどこがわかれば、合同な三角形がかけますか。答えを選び、○をつけましょう。また、選んだ理由を下の□にかきましょう。

() 辺ACの長さ

A

() 角Aの大きさ

(○) 辺ABの長さ (50点)



選んだ理由 (50点)

辺ABの長さがわかれば、頂点Aの場所が決まる。つぎに、頂点Aと頂点Cをつなげば、ある三角形と合同な図形がかけるから、辺ABを選んだ。辺ACの長さがわかっても角Cが何度かわからないと、いろいろな三角形ができてしまう。また、角Aの大きさがわかっても、辺ABか辺ACの長さがわからないと頂点Aの場所が決められない。だから、あと1つなら、辺ABの長さがわかるとよい。



解説

今回の問題は、実際に三角形をかいて説明するとわかりやすいですね。三角形の図をかいた人や辺ABを選んだ理由だけでなく、辺ACや角Aでは「なぜ、かけないのか」も説明できた人、「なぜならば」「だから」などの言葉を使って説明できた人がプラス点です。今までの最高点は3つ全てについて図をかきながらきちんと説明できた人で、なんと得点が155点でした。すごいですね。これより、良かった人はいるでしょうか？プラスワンチャレンジは100点以上の点がとれるので、みなさん、どんどん考えをかいてみてください。今回の数学者は日本人の秋山^{じん}仁先生です。テレビにも出ているので、見たことがある人もいないのでしょうか。次に続く未来の数学者はあなたかも・・・?!